

# 遠山中学校 家庭学習の方法

## 2年



## ～2 学年国語の家庭学習の取り組み～

### 1. 授業でやっていない単元のワークに取り組む

ワークに取り組むのによいタイミングは2回あります。1回目は単元の授業前です。これは、その単元の「予習」として取り組むことができます。2回目は単元の最後の授業後です。これは言わずもがな、「復習」として取り組むことができます。家庭学習ノートや国語のノートに書くと、何度も繰り返し学習することができます。

### 2. 漢字練習

漢字練習帳を活用して、たくさん漢字練習をしましょう。流れ作業で書くのではなく、漢字の構造やつくりを意識して練習すると、自然と頭に入ってきます。家庭学習ノートに、少し大きめに書くことも、「覚える」ためには有効です。

### 3. たくさんのいろいろな問題に取り組む

学校のワークだけでなく、市販のワークにも挑戦してみましょう。「国語の問題」に慣れることも大切です。

### 4. 授業内容を振り返る

授業のプリントやノートを見返して、内容を振り返りましょう。別のノートに改めてまとめなおしてみるのも良いと思います。

### ついでに. 読書

読書も立派な勉強だと思います！「本を読む」ということ自体が、「読み取る力」の一番の向上につながります。読んだ内容をアウトプット(書き出したり、人に話したり)すると、より理解が深まります。

読んだ本について感想文を書いて先生に見せ、添削もしてもらおうと、「書く力」も高まって超お得！

国語は「想像力」が大切なポイントです。いろいろな問題に触れ、文章に触れて、理解を深めていってください。

取り組み時間  
15~25分程度

LEVEL1 ワークに取り組む

◎国語 ワーク P20~

① **整** た形と、明瞭な色彩が変化するさまに、美しさと  
魅力を見いだす。 3/

② **次** 大量の花火を連続して打ち上げる方法  
**次** ? -発ずつの花火をじっくり鑑賞できる打ち上げ方法

③ ① **光** (や **色**), **工** / **星** **飛散**, **▽** ② **▽**  
③ 球体の**内側** ~ **×** 入れ込んだ

④ ① **巾** が **み** の **た** い、 **は**、 **ま** り **し** た **花** **火** の **1** **6** ② **×** **イ**  
巾がみなくまん丸く大きく開き、は、ま、り、し、た、発色で一斉に変色し  
一斉に消える花火。

◎国語 漢字練習 漢字マスター P44~45

1. 華道の**宗家**。宗家 宗家 宗家 宗家 宗家 宗家 宗家

2. 失敗に**懲**りる。懲りる 懲りる 懲りる 懲りる 懲りる 懲りる

3. **卓**越した表現。卓越 卓越 卓越 卓越 卓越 卓越

4. **現**役の**撰**手。現役 現役 現役 現役 現役 現役

5. **怒**声**が**響く。怒声 怒声 怒声 怒声 怒声 怒声

6. **盗**難を防ぐ。盗難 盗難 盗難 盗難 盗難 盗難

7. **気**性が**激**しい。気性 気性 気性 気性 気性 気性

## 2年 数学 ～家庭学習の進め方～

－はじめに－

数学を通して新たな考えに触れ、自分なりに試行錯誤したりして、また新たな考えを見つける・・・そうした発見の連続が数学の楽しいところです。

とはいえ、テストで点数を取らなければ、数学を好きになれない、やっていて楽しくないと感じるのも事実です。

では、数学で点数を取るにはどうしたらよいのでしょうか・・・？

**解き方を暗記するまで解く**，それがいちばんではないかと思います！

入試問題や、テストの問題など、数学は典型的な問題であふれています。それらを暗記すれば、高得点につながることも間違いなしです！

－家庭学習の仕方－

では、家庭学習の仕方をご紹介します

ワークを3回以上解く。ワークでなくても構いませんが、1冊で十分です。

1・2回目は、3分じっくり考えて解法が思いつかなければ，答えを見て写す  
(答えだけでなく途中式も) (ノートに解きましょう)

3回目は、何もみないでもう一度解く。

4回目以降は、すぐ解法が思いつく問題は飛ばし、3回目までにできなかった問題を解き直す。

1・2回目の3分じっくり考えて、という部分は、入試問題等で初見の問題に出会ったときに、最低限必要な時間です。わからなくても3分は粘ってみてください。

もちろん、わからないところは、まず友達や先生などに教えてもらうことが大切ですが、答えをひたすら写し、「この解き方さっきもみたぞ」と思えるようになるとよいですね。

また、いろんな問題集を手にするのではなく、1冊の問題集を完璧にできるようにする。それを目指してください。応援しています。

# 家庭学習の進め方について【2年 英語科】

英語の知識を定着させ、学力を向上させるためには、**繰り返し学習に取り組む事**が大切です。一度覚えた単語も忘れていたりすることもあります。B ノートを使って、練習した単語や問題を見直せるようにすると良いです。授業で紹介したレベル別の例を参考に、まずはやってみましょう。人によって、わからないところはバラバラで当然です！自分で考えて、自分に合ったやり方を見つけてみましょう。

## ○基礎編

### 文法の使い方を理解する

- 教科書の板書を自分なりにノートにまとめる（色分けしてみましょう）  
⇒新出単語は青，文法の部分は赤で分けると，見やすくなります！
- ワークの文法まとめを読み、問題を解く  
⇒ノートに繰り返し解き，テスト前にワークに解くようにすると定着します
- 文法が使われている英文（ワークや教科書内から抜粋）をたくさん書く  
⇒单元ごとのポイントを整理することができます。

### 単語を覚える

- B ノート(ムーミン)に書き取り練習をする
  - A ノートの白いページを使っても OK！
  - 日本語→英語 英語→日本語 にするのも GOOD！  
すらすら書ける単語は OK 書けない単語は☑をし、練習 後日もう一度確認を行う
  - 教科書本文中でどのように単語が使われているか確認する
- ☆「単語を制するものは、英語を制す！」と信じて、学生時代は勉強していました。  
家庭学習は単語練習をひたすらしていました。

## ○応用編

- ALT と会話をする
- B ノート、家庭学習ノートなどに日記を書く（添削してもらう）
- 英語の本や記事を読む（わからない単語や表現を調べながら）  
※図書室にも英語の本があります
- 映画（洋画）を吹き替えなしで見る（聞き取れた英語をノートに書く）

# 理科の学習の進め方について

2年生理科担当

中学校で学ぶ理科は4つの分野に分かれており、それぞれ「物理」「化学」「生物」「地学」になります。2年生理科は最初に「化学」次に「生物」、そして「物理」、最後が「地学」です。「化学」では、化学式や化学反応式を学習します。これは、全世界共通です。「生物」ではヒトのからだの仕組みについて学習します。「物理」では電流と磁石について学習します。そして、「地学」では天気について学習します。

## 1 授業で使うもの

### (1) 教科書

大事な箇所はマーカーでチェックします。

### (2) ノート

自分が見やすいノートになるように試行錯誤しながら作ります。先生の説明や友達のよい発表、および疑問に思ったことをノートにメモすると自分にとって役に立つノートができあがります。

### (3) プリントファイル

授業で配布されたプリントを整理するために使います。

## 2 成績の評価方法

3観点(1)知識・技能(2)科学的思考・表現(3)「主体的な学習態度」について[A][B][C]で評価します。その評価を基に「5」「4」「3」「2」「1」の評定をつけます。3観点のうち「主体的な学習態度」はペーパーテストでは評価が難しいので、課題の提出や授業態度など総合的に判断して評価します。

## 3 タブレット使用について

ワークは購入しませんが、タブレットに入っている「L-GATE」の問題を解くことで復習になります。自習時間やテスト前勉強や家庭学習などで各自が取り組んでください。また、疑問に思ったことや興味を持ったことについて調べると理科への興味・関心が高まります。

# 社会科の家庭学習方法

社会科は「暗記科目」です。一つずつ覚えていくしかありません。覚えていく中で行ってほしいことは、「その言葉が、どのような問題の答えになるのか」ということとセットで頭にインプットすることです。

(例)

覚える言葉	問題文
徳川家康	1603年に、朝廷から征夷大将軍に任命され、江戸幕府を開いた人物は誰か。

「暗記科目」である社会科はインプットしただけで終わってはいけません。それは、少しずつ忘れていってしまうからです。忘れないためには「アウトプット」することが大切です。アウトプットの方法としては、「問題演習」「人に説明をする(伝える)」などがあります。

## インプットの方法① 「教科書を読む」

【必要なもの】教科書、蛍光ペン

【流れ】①教科書を読む(1回目)…可能であれば、声に出して読む。

②教科書を読む(2回目)…蛍光ペンを持ち、重要語句(太字)に線を引く。

③教科書を読む(3回目以降)…挿入されている資料(地図、写真、グラフ等)にも目を向ける。

【注意点】●「ただ読むだけ」にならないようにしましょう。

●「一度読んだから終わり」にならないようにしましょう。



## インプットの方法② 「先生になったつもりで、もう一度、ノートに書く」

【必要なもの】教科書、授業用ノート、(別のノート:家庭学習帳など)

【流れ】①教科書を読む。

②授業でノートに書いたものをもう一度書く。

・反対側のページに書く。

・別のノートを用意できる場合はそのノートに書く

【注意点】●「きれいに書くこと」が目的にならないようにしましょう。

●「わからない言葉」や「説明できないところ」があった場合は、そのままにはせず、「次の日」に必ず先生に確認をしましょう。



## インプットの方法③ 「問題文をつくる」

【必要なもの】家庭学習帳、教科書、授業用ノート、ワークやタブレット(「eライブラリ」のドリル)

【流れ】①授業でノートに書いたものを確認する

②家庭学習帳に上で示した(例)のような線を引き、「覚える言葉」と「問題文」を書く

※「問題文」については、「教科書の文言」や「自分で考えた言葉」、「ワークの問題文」、「eライブラリのドリルの問題文」などを参考にするといい

③「覚える言葉」を隠しながら「問題文」を読み、問題演習を行う

【注意点】●「問題文」は「1つだけ」ということはありません。

●「ワーク」や「eライブラリのドリル」にも定期的に取り組みましょう。